

島しょ町村保健師定着支援事業 ～地域保健をつなぐ架け橋プロジェクト～	
島しょ保健医療圏	
実施年度	開始 平成25年度 終了 平成27年度
背景	平成22年度から3年間、島しょ地域の保健医療人材確保・定着支援を行い、保健師については一定の確保が行われた。しかし、確保はされても定着状況は平均3年未満と、早期に退職するケースが多い。その要因の一つには、各町村の人材育成体制の問題として、保健師経験の有無にかかわらず専門職種として期待され、業務の評価や振り返りもないことに不安を持ち、自信が持てないまま早期の離職につながっていると考えられる。また、研修機会があっても、予算、人員体制、交通事情、天候等の事情により、十分とはいえない事情もある。さらに、定着率が悪いということは、保健師としての技術の継承も不十分なため、地域保健業務の確立ができず、次の退職者を生むことにもつながっている。 保健師の定着は、島しょ町村の住民サービスに影響する問題であり、町村からは、保健師の定着支援をしてほしいという要望があがっている。以上の状況から、保健師の定着を促すための支援に取り組むこととする。
目標	島しょ町村の人材育成支援の一つとして保健師研修を支援し、保健師の定着を図ることで、島しょ地域の保健活動の向上を図る。
事業内容	(平成26年度の計画) 1 島しょ町村の人事担当者や健康主管課との人材育成担当者との意見交換 2 新任期保健師研修計画の作成支援 3 島しょ町村保健活動サポーターによる現地研修の実施 (大島管内2回・八丈・小笠原) 4 島しょ町村保健活動サポーターによる島しょ町村保健師研修(9月・12月) 5 保健師業務連絡会を活用した研修(7月) 6 サポーター連絡会(8月・3月) 7 課題別PT会議(7月・9月・2月)
評価	1 町村保健師の希望もあり、保健師経験の有無にかかわらず全員を対象とした研修を行った。 2 現地研修は、それぞれの町村で課題となっていることや、希望を取り入れて企画・実施したことや関係機関も含めた研修を行うことによって、他職種との連携や理解が進んだ。 3 座学式の講義だけでなく、グループワークや事例検討会、同行訪問によるケースアセスメントを具体的に共有化することで町村保健師が自己評価が可能となった。多彩な取組を通して、事業評価や情報交換の場として有効に活用できた。このことは、保健所保健師と町村保健師の関係にも良い影響を与えた。 5 総務課主催の保健師業務連絡会を活用した研修は、災害時の活動や予防接種法の改正など、島全体に共通の課題を取り上げ実施した。災害保健活動の平常時の取組が進んだ。 6 人材育成支援が、定着促進とはならない状況にはあるが、役割を認識することで町村保健師としての活動をステップアップさせる支援にはつながったと考える。
問い合わせ先	島しょ保健所 総務課 庶務係 電 話 03-5320-4342 ファクシミリ 03-5388-1428 E-mail S0000324@section.metro.tokyo.jp